| 授業科目名：<br>地理概説Ⅰ | 教員の免許状取得のための<br>必修科目（中学社会）<br>選択科目（高校地歴） | 単位数：<br>2単位 | 担当教員名：<br>加賀　大学<br>担当形態：　単独 |
|---|---|---|---|
| 実務内容<br>（実務家教員の場合） | | | |
| 科　目 | 教科及び教科の指導法に関する科目（中学校　社会、高等学校　地理歴史） | | |
| 施行規則に定める<br>科目区分又は事項等 | 教科に関する専門的事項<br>・地理学（地誌を含む）<br>・人文地理学・自然地理学 | | |

「学位授与の方針」との関係

DP2.共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる（専門知）
DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる（実践力）

授業のテーマ及び到達目標

地理学の基礎的・基本的事項について、気候、地形、植生などの自然環境と人間生活との関わりを中心に学ぶ。我が国の国土及び世界の諸地域の地域的特色の正しい認識と豊かな世界観を習得する。

授業の概要

（１）気候、地形、植生など自然環境と人間生活との関わりについて具体的な地理的事象を通して学ぶ。
（２）気候区分を中心に世界の諸地域を取り上げ、地域的特色を学ぶ。
（３）我が国の地形、気候の理解を通して、日本の自然環境と人々の生活との関わりを学ぶ。

授業計画

第１回：はじめに（世界の気候区分とその特徴）　テキスト：はじめに
第２回：熱帯気候（自然、気候メカニズム）　テキスト：第１章
第３回：熱帯気候（熱帯雨林の変化、農業、住民生活）　テキスト：第１章
第４回：乾燥気候（自然、気候メカニズム）　テキスト：第２章
第５回：乾燥気候（動植物、農業）　テキスト：第２章
第６回：乾燥気候（住民生活）　テキスト：第２章
第７回：寒帯・冷帯気候（自然）　テキスト：第３章
第８回：寒帯・冷帯気候（気候メカニズム、農業）　テキスト：第３章
第９回：高緯度地方の住民生活・山岳地帯の農業　テキスト：第３章
第１０回：温帯気候（自然）　テキスト：第４章
第１１回：温帯気候（気候メカニズム、西岸海洋性気候）　テキスト：第４章
第１２回：温帯気候（地中海性気候、先進国の都市問題）　テキスト：第４章
第１３回：日本の地形　テキスト：第４章
第１４回：日本の気候　テキスト：第４章
第１５回：日本の自然と人々の生活　テキスト：第４章
科目修得試験

スクーリングでの学修

スクーリングでは、第１０回から第１５回の内容を中心に、それぞれの気候と人間生活との関わりについて、また日本の地形、気候と人々の生活について、地理的な見方・考え方を働かせた考察を通して学ぶ。

テキスト

水野一晴著　２０１８年　『世界がわかる地理学入門』ちくま新書　978-4-480-07125-5 C0225

参考書・参考資料等

水野一晴　２０１５年　『自然のしくみがわかる地理学入門』ベレ出版　978-4-86064-430-7
『詳説高等地図』など、中学校、高等学校で使用する地図帳

学生に対する評価

スクーリング評価（25%）、レポート評価（25%）、科目修得試験（50%）